

構成	宗近 祐里 対話の記録「水戸の街とわたし」 赤城のい Protusion 田口 真帆 Cultivated Formation 瀬尾 海月 paper relief white 03 近藤 愛里 Curved Patterns Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 中嶋 悟也 へろへの群れ 永見 巴菜 みんな知らない鳥取のカタチ 金田 一心 WAFRICAN KAMEN 清水 優美 筑波大学内の右回りバス停からの景色
----	--

工芸	伊久間 柚那 ばぐだのちぢぢ 多田野 真友 Toiwo \ Vit \ Kaiho 宮崎 桜 Works 渡邊 玖遠 entropy = babylon 針ヶ谷 水柚 still \ still 榎山 美咲 POCKET Tray \ Tray Pen Tray 松本文香 cryptids 三原 昂也 漆包
----	---

ビジュアル デザイン	大橋 あずみ 間の宿る魔法の街と3匹のネズミの冒険 梶谷 伊満理 「の鳥根」 望月 ゆきね 少年漫画における回想表現 都久井 綾子 ビジュアル図鑑「心の動き」 松本 亜澄 もご時間 佐藤 朱莉 生活の客観視をするな 村松 律希 音と記憶 井上 宙 REALIZE イヒヨウオン 毎日の食事 菅野 淳里 Small Signs Episodes 加々美 杏子 ブランドデザインゲーム 「Cathnautica」
---------------	--

総合造形	平田 朱音 ひと巻きの不在 徳元 麻衣 徳元の誕生日を祝え 栗原 莉子 鱈 神嶋 しており Turf War 澤出 望生 舞うことば 中村 碧琉 Wind sound 福田 瑠華 虚の実像 富田 春菜 Spectral Membrane : Vowel 高橋 楓佳 FLIP SCENERY 佐藤 美咲 漫画「同窓のフィオライト」 展小会
------	---

情報・ プロダクト デザイン	菅原 洋香 寝メロリン 及川 佳乃 Parallel Marches 一野 羽亜奈 SAKURARAID 伊藤 紬 午食帯 石川 理紗 RUN PIECE 原 仁瑞 ホームセンターの「やなぎ」使い方 山根 千幸 NEKO-NO-TE 川島 丈太郎 THE GATTSUKI 白川 陽代莉 四季の舞／書道アーチ
----------------------	---

建築 デザイン	一北 航平 居心地をまとう 佐藤 康 あわいに生える建築 高木 まごか くるまるホール 許 松香 松風荘 井出 さくち meditation 松永 ショーン 直人 9-Grid Revisit 小原 映理 地域とアートの交差点 「アートセンター」けやきー 川口 恵舞 みじさんばうライン チヨソノミン たわわに実るタワー
------------	--

環境 デザイン	西海 裕貴 ENI Launcher 近藤 彩加 FLOWER 西元 優和 Nawa to Beat 高野 央輔 Dial 金子 佑介 Balloon of Words 神代 亜子 Pixingo 大熊 日向 Locking Dice 水谷 駿太 VIZHORSE 山家 直人 Nook-noiri
------------	--

関連行事	吉岡 凜 お隣のお地藏さん 遠藤 綾乃 めぐる森のまち広場 情報・プロダクトデザイン／建築デザイン／ 環境デザイン 3 領域合同ギャラリートーク 2月19日(木) 10時開演 茨城県つくば美術館
------	---



令和7年度
筑波大学芸術専門学群
卒業制作展・
卒業論文発表会に
寄せて

令和8年2月

芸術専門学群卒業生一同



令和7年度筑波大学芸術専門学群卒業制作展にご来場いただき、誠にありがとうございます。

芸術専門学群は14の領域から構成されています。それぞれの領域が自身の特色を生かしながら他領域との交流を積極的に図り、芸術を様々な視点から学びつつ自身の見識を深めることができるのは、本学群の大きな強みです。

本展は、前期と後期に分かれての2期開催です。前期展では、美術史・芸術支援領域の卒業論文と、洋画・日本画、彫塑、書・版画領域の作品を展示いたします。後期展では構成、総合造形、工芸、ビジュアルデザイン、情報・プロダクトデザイン、環境デザイン、建築デザイン領域の作品を展示いたします。

大きく変化する世の中に戸惑いながらの大学生生活となりましたが、親身に寄り添ってくださる素晴らしい先生方の存在や、豊富な資料のある恵まれた環境によって、芸術の世界を深く味わい、また集中して向き合うことができました。今回展示している論文や作品は、各々が芸術に真摯に向き合い、皆で切磋琢磨しながら執筆、制作したものです。私たちの学びの集大成をぜひごゆっくりとご鑑賞いただきますとともに、忌憚のないご批評をいただければ幸いです。

最後になりましたが、本展開催にあたり多大なるご協力を賜りました茨城県つくば美術館の皆様、ご指導いただきました先生方、大学関係者の皆様、そして私たちを支えてくださった家族や友人、携わってくださった全ての方々に、心より御礼申し上げます。

筑波大学芸術専門学群は1975年に開設され、今年度で50周年を迎えました。1979年には第1期生による、第1回卒業制作展が大学構内で開催されました。その後、つくば美術館に会場を移し、現在まで、コロナ禍での混乱もありましたが、47年にわたり学内外で開催されてきました。

筑波大学芸術専門学群は、総合大学の中に位置づけられた芸術を専門とする教育組織です。美術史・芸術支援、洋画、日本画、彫塑、書・版画、構成、総合造形、工芸、ビジュアルデザイン、情報・プロダクトデザイン、環境デザイン、建築デザインといった14の多彩な領域からなります。そして、学際的・国際的な視野と確かな学力を持ち、かつ柔軟な発想力と豊かな表現力を備え、創造的活力に満ちた美術及びデザインの専門家を養成することを目的としています。そのため、学内外の展覧会・研究会において積極的に作品や研究の発表を行うことを奨めています。その結果、学生は自身の力を認識し、教員は教育を客観視することができ、教育の質の向上につながっています。

この卒業制作展・卒業研究発表会は、本学群で学んだ卒業生が4年間の成果をひろく世に問う展覧会・発表会です。卒業生一人ひとりにとっては、それぞれの専門性や特性を活かした卒業後の活動へ繋がる舞台です。粗削りなところなど垣間見られるかも知れませんが、今だからこそ出すことができる新鮮な魅力を感じ取って頂けると信じています。是非とも忌憚のないご批評をお願いいたします。末筆ながら、今回の卒業制作展・卒業研究発表会の開催にあたり、ご協力いただきました茨城県つくば美術館の関係者のみなさまに心より御礼申し上げます。

ご挨拶

令和8年2月
筑波大学 芸術専門学群長

大原 央聡

卒展前期

2月10日(火)・2月15日(日)

洋画

- 南部 怜奈 出生／自画像
- 大谷 日奈子 犬図／自画像
- 桑島 紗波 虚／純化／自画像
- 田子島屋 萌加 BOUNDARY I／BOUNDARY II／自画像
- 本澤 すみれ Velled／自画像
- 石塚 聡華 Voyage／Hometown II／自画像
- 坂本 岬 悠遠の狭間／自画像

美術史

- 永島 啓太 曾我蕭白「寒山拾得図」に関する一考察―障壁画としての検討を中心に―
- 大島 彩那 岡本太郎研究―眼の表現をめぐって―
- 伊原 爽 1920年代前半におけるジョアン・ミロー視覚的イメージの形成とシュレアリズムとしての位置づけに関する再考―
- 作本 姫菜 芸術祭におけるボランティアの活動推進と継続のための支援

版画

- 宮津 見明 故郷の海の天使／自画像
- 佐々木 梨乃 #Din／DIMENSION／自画像
- 久保田 実々 まちがみえる／ゆめのなか
- 野方 菜央 だれも知らない海で／自画像
- 宮嶋 凜 遷ろうI／遷ろうII／自画像

彫塑

- 中村 日香 在り処／ゆらり
- 金田 実樹 cage.No.12／Living for the Thrill
- 井ノ上 さくら 臨 西狭嶺／臨 継色紙／王維詩

書

- 稲田 来瞳 暁の雫／自画像
- 上野 詩乙梨 重なり／自画像
- 上瀨 日向 果てに／自画像
- 太田 円理 Qué haecn aquí?／自画像
- 野口 萌花 陽春／自画像
- 山岸 千花 おとめたち／自画像
- 山口 聖菜 醜郁たる日々／自画像

日本画

- 稲田 来瞳 暁の雫／自画像
- 上野 詩乙梨 重なり／自画像
- 上瀨 日向 果てに／自画像
- 太田 円理 Qué haecn aquí?／自画像
- 野口 萌花 陽春／自画像
- 山岸 千花 おとめたち／自画像
- 山口 聖菜 醜郁たる日々／自画像

関連行事

- 美術史領域・芸術支援領域 卒業論文発表会
2月13日(金) 13時開演―12時30分開場
筑波大学5C棟 317教室

UNIVERSITY OF TSUKUBA
SCHOOL OF
ART AND DESIGN
MASTER'S PROGRAM IN ART
DEGREE SHOW
2026

Tuesday, January, 27 -
Monday, February, 23 2026

305-0031 Japan
2-8 Azuma Tsukuba Ibaraki

9:30-17:00
(admission until 16:30)
Closed on Mondays
Tsukuba museum of art, Ibaraki